

本日の研修の内容

目 的

中小規模の病院の医療安全の取り組みを支援する

方 法

大体のテーマごとにグループ分けして、
ファシリテータとアドバイザーを交えながら、

1. 中小規模の病院で医療安全について困っていたり
悩んだりしていることを明らかにして、どのよう
な支援を必要としているのかを把握する。
2. それに基づいて、グループ内での相互支援を通じ
て具体的な取り組み事項を決定し活動計画を作成
する（目標を明確にしてチームで取り組む）

2012.7.5（横浜）

チーム医療の推進について (チーム医療の推進に関する検討会 報告書)

チーム医療とは

「医療に従事する多種多様な医療スタッフが、各々の高い専門性を前提に、目的と情報を共有し、業務を分担しつつも互いに連携・補完し合い、患者の状況に的確に対応した医療を提供すること」と一般的に理解されている

- チーム医療は、我が国の医療のあり方を変え得るキーワード
- 各医療スタッフの知識・技術の高度化や治療の標準化の浸透
- 医療の質を高めるため医療スタッフの専門性を高め再統合

チーム・マネジメント

セルフ・マネジメントをベースに、チームとしての機能を最大限に発揮することができるようにマネージする能力。すなわち、メンバー間のコミュニケーション、リレーションシップ、リーダーシップによって、個々のメンバーの力が相乗効果を生み、困難な状況にも対処できるようにするために活用する。

1. コミュニケーション: 積極的傾聴と訴える力
外を取り込み(outside-in)内なるものをしなやかに訴える(inside-out)
2. リレーションシップ: メンバー間の心理的距離
離れすぎず近づきすぎず(態度や主観、体調が影響する)
3. リーダーシップ: 対人関係における影響力
良いメンバーは良いリーダーになる(リーダーシップ=メンバーシップ)

3

セルフ・マネジメント

セルフ・マネジメントとは、自分自身の状態、考え、パフォーマンスなどを最適にマネージする能力。つまり、自分自身の特徴をよく理解して、意図的に対人関係を良くするように自らをコントロールする力。

1. 理性的な領域のマネージ
感覚や思考、それに行動をコントロール
正確な「情報受容」、的確な「判断」、適切な「行動・指示」
2. 情緒的な領域のマネージ
感情や願望のコントロール
感情を変えるには「思考」や「願望」「行動」を変える。願望はモチベーション
3. 関連要因のマネージ
意識レベル、ストレス、疲労、健康状態などのコントロール
意識の状態が注意力・判断力の信頼性が決まる。睡眠が重要

コミュニケーション (雑談→対話→ディスカッション→意思決定)

4